

医科栄養学研究科

医科栄養学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、生命科学および医学に基づいた栄養学の高度な専門知識を持ち、人々の食生活を改善し、健康の保持・推進に資することができるとともに、日本国内にとどまらず世界において活躍することを目指す次のような人を求めています。

【博士前期課程】

医科栄養学研究科博士前期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、生命科学および医学に基づいた栄養学の高度な専門知識を持ち、人々の食生活を改善し、健康の保持・推進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・医学に立脚した高度な専門知識と技術を有する臨床管理栄養士をめざす人
- ・栄養施策を企画し、国内外において社会に貢献することをめざす人
- ・栄養学分野の研究・教育機関で活躍することをめざす人

【博士後期課程】

医科栄養学研究科博士後期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識をもち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・これまでに習得した高度な専門知識や技術を臨床の場で応用・発展させることのできる管理栄養士
- ・国内外の行政機関で、習得した高度な専門知識や技術を生かした栄養施策を企画・立案し、社会福祉に貢献したい人
- ・栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関で活躍することをめざす人

医科栄養学研究科 医科栄養学専攻 博士前期課程【修士（栄養学）】

医科栄養学専攻では、生命科学および医学に基づいた栄養学の高度な専門知識を持ち、人々の食生活を改善し、健康の保持・推進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

医学に立脚した高度な専門知識と技術を有する臨床管理栄養士をめざすとともに、社会情勢を鑑み将来、病院や行政機関や研究機関で活躍し、社会に貢献することをめざす人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・技能をもとに思考を深めて適切に判断かつ表現し伝えることができる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

今までに培った自分の意思や判断力を駆使し、問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれること無く、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力出来る人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試（1次・2次募集）>

個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<特別入試（社会人）（1次・2次募集）>

個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、社会人大学院生としての志望動機、就学環境、大学院修了後のビジョンについても評価します。

<私費外国人留学生（1次・2次募集）>

指導教員の推薦書では、主として栄養生命科学分野に関するこれまでの学習状況、専門的な知識・技能の修得状況、学習・研究意欲について評価します。

口頭試問では、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、日本語運用能力についても評価します。

医科栄養学研究科 医科栄養学専攻 博士後期課程【博士（栄養学）】

医科栄養学専攻では、生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識を持ち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

医学に立脚した高度な専門知識と技術を有し、応用・発展させることのできる管理栄養士をめざすとともに、社会情勢を鑑み将来、栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関等活躍し、社会に貢献することをめざす人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・技能をもとに思考を深めて適切に判断かつ表現し伝えることができる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

今までに培った自分の意思や判断力を駆使し、問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれること無く、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力出来る人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試（1次・2次募集）>

個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<特別入試（社会人）（1次・2次募集）>

個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、社会人大学院生としての志望動機、就学環境、大学院修了後のビジョンについても評価します。

<私費外国人留学生（1次・2次募集）>

指導教員の推薦書では、主として栄養生命科学分野に関するこれまでの学習状況、専門的な知識・技能の修得状況、学習・研究意欲について評価します。

口頭試問では、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、日本語運用能力についても評価します。

<内部進学>

指導教員の推薦書では、主として栄養生命科学分野に関するこれまでの学習状況、専門的な知識・技能の修得状況、学習・研究意欲について評価します。

面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

<モンゴルと ASEAN 諸国における国際高度医療人育成プログラム特別入試>

日本国政府奨学金により、徳島大学大学院（医学、医科栄養学、保健科学、口腔科学、薬学）研究科において博士号の取得を目指す外国人で、指定の国籍を保有し新たに海外から留学を希望する者を対象に実施します。最終学歴の学業成績係数が 2.30 以上で十分な英語能力（英語能力証明書を提出）が条件となり、採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

<統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別入試>

本プログラムでは 21 世紀における世界的課題である人間環境、栄養、保健、感染予防並びに医療の分野における諸問題に対応できるように、世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として、医学、栄養学、保健学、歯学、薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は、提出された書類に基づき選考します。